



(別紙 1)

■内容
県が開設した農業を中心とした先端技術の研究開発とビジネス支援の拠点である「AOI-PARK」の施設見学。及び、産業分野や学術分野が互いの技術やアイデアを持ち寄って農業に新たな価値を生み出すことを目的とした「AOI プロジェクト」の説明を受けた。
■町行政との相違点、留意点
最先端科学研究と当町の法人化されていない個人や小規模農業とでは接点を持つ事は難しいと感じた。
■研修成果による町行政への提言
都市化の進展に伴う農家戸数の減少、従事者の高齢化や担い手不足、販売価格の低迷など当町の農業を取り巻く環境は厳しい状況にある。そのような状況下で、自然環境の保全などの多面的な機能の維持や農業の基盤強化を図るとともに、地産地消の推進、特産品のブランド化など将来に希望がもてる安定した農業の確立が急がれる。昨年、農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」において 2050 年までに、耕地面積に占める有機農業の取り組み面積を 25%、100 万 ha に拡大することなどの目標を掲げている。次世代有機農業技術などの確立については、国もはっきりとした道を示している状況でない。当町の農業従事者も独自の課題を抱えているはずであり、「AOI プロジェクト」が課題解決の一助になり得ると考える。まだまだ農業従事者への認知度も低いため、まずは周知を図り、将来に希望が持てる安定した農業に向け関わりを模索して頂きたい。
■添付書類
AOI プロジェクトと AOI フォーラムの目指すもの 他